

## 業務における Microsoft365 の活用促進

ウィズコロナにおける 在宅勤務と出勤とを組み合わせた新しい働き方に対応するため、Teams、OneDrive、Forms、PowerAutomate などさまざまなMicrosoft365 サービスが事務業務に取り入れ始めている。これらを活用を促進するため、 Teamsチーム（Microsoft365 グループ）の管理運用体制の見直しを行っている。

## 【現状】

- 原則、本部・部局の事務部・課毎に2つしかTeamsチームを作成していない。（課とプロジェクト用）
- Teamsのユーザー検索に職員メール（@mail.u-tokyo.ac.jp）保有者しか表示されない。
- 教育、研究目的では、Teamsの活用は一部の試行に留まっている。
- 係やプロジェクト等はチーム内のチャンネルとして作成し運用している。
- 他の係と同じチームであるため、データの管理が複雑になる場合がある
- Teamsチャットの利用が多い。
- Microsoft365ツールの利用が属人化しやすく、組織として活用しにくい。
- 事務組織では従来のExchangeのグループアドレスも維持

## 【検討の方向】

必要な単位、全体での情報共有を行いやすいTeamsチームの作成と管理を行い、TeamsをはじめとするMicrosoft365ツールの利活用に適した環境を整える。

### [段階的な環境整備]

- 従来のExchangeのグループアドレスのTeamsチームへの移行
- 共有チャネルなどTeamsの新機能の利用開始
- 横断的なプロジェクトなどのTeamsチームの作成と管理体制の策定
- ゲストのTeamsチームへの参加
- 全学、部局規模のTeamsチームの展開方法の検討
- 学生への使用ライセンス付与の検討